

## <香川県内の経済動向> (2019年9月作成分)

**現在の景気：緩やかな回復基調が続いている。**

**3か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。**

**個人消費：着実に持ち直している。**

- ◆ 7月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比▲4.4%と3か月ぶりに減少。店調後は前年比▲6.5%と2か月ぶりに減少。
- ◆ 7月のコンビニエンスストア販売(速報値)は、前年比▲1.3%と9か月ぶりに減少。
- ◆ 7月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）▲21.0%と3か月ぶりに減少、ドラッグストアが同+2.1%と52か月連続で増加、ホームセンターが同▲10.5%と2か月連続で減少し、全体では同▲8.8%と3か月ぶりに減少。
- ◆ 7月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比+2.7%、小型乗用車で同+0.2%となったものの、軽乗用車で同▲5.1%と減少し、全体では前年比▲1.5%と2か月連続で減少。

**住宅建築：横ばいで推移している。**

- ◆ 7月の住宅着工戸数は、分譲住宅で前年比+56.9%となったが、持家で同▲9.6%、貸家で同▲7.5%となり、全体では前年比▲1.7%と2か月ぶりに減少。

**設備投資：高水準となっている。**

- ◆ 「全国企業短期経済観測調査結果（2019年6月）-香川県-」をみると、2019年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、製造業で前年度比+1.2%、非製造業で同+75.6%、全産業では同22.0%増加の見込み。

**公共工事：下げ止まっている。**

- ◆ 7月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比▲42.9%となったものの、県で同+45.4%、市町で同+50.1%となり、全体では同+16.9%と2か月連続で増加。
- ◆ 4～7月の年度累計では前年比8.0%減少。

**輸出：横ばいで推移している。**

- ◆ 7月の県内通関輸出額は、前年同月では実績のなかった船舶が227億円になったことから、全体では前年比+282.0%と2か月ぶりに増加。
- ◆ 1～7月の累計では前年比5.2%減少。

**生産活動：振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。**

- ◆ 6月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比0.5%減少し、104.6と2カ月ぶりに低下。
- ◆ 非鉄金属工業（電気金）、汎用・生産用機械工業（ころ軸受・建設用クレーン）などで低下。
- ◆ 輸送機械工業（鋼船）、電気機械工業（開閉制御装置・発光ダイオード）などで上昇。

**観光：好調に推移。**

- ◆ 7月の主要観光地（ニューレオマワールド含む）の入込客数は、前年比+18.1%と4カ月連続で増加。
- ◆ 1～7月の累計では前年比12.6%増加。

**雇用情勢：好調に推移。**

- ◆ 7月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.03ポイント低下の1.80倍。
- ◆ 新規求人数（原数値）は、卸売業・小売業、医療・福祉等で増加し、運輸業・郵便業、製造業等で減少となり、全体で前年比1.5%増と8カ月ぶりに増加。